

大会スローガン

# 仲間の声を結集し、団結の力で ゆとりと誇りの持てる職場を実現しよう!!



大会最終日、岡田委員長の「団結ガンバロー」に元気に応える全国の代議員と大会参加者



全国税労働組合  
第63回定期大会  
特集号

全国税「第63回定期大会」は、8月19、21の3日間、東京都内において開催されました。大会には、代議員・来賓・オブザーバーを含むのべ273名が参加し、「仲間の声を結集し、団結の力でゆとりと誇りの持てる職場を実現しよう!!」の大会スローガンのもとで熱心な討論が行われました。

小泉「構造改革」のもとで激しさを増す公務員攻撃に加え、サラリーマン増税路線の打ち出で「小さな政府」とは名ばかりの国民負担増が企まれている。職場は降格人事や定昇未発令などが横行する「成果主義」前夜の如く停滞した空気が漂っています。今こそ仲間が団結してこれらに立ち向かい、ゆとりと誇りの

持てる職場をつくっていきましょう。この運動方針を満場一致で確認しました。また、8月15日に出された、地方切り捨ての「給与構造改善」を柱とする史上最悪の賃下げ人事院勧告に全面的に反対する立場を明確にし、このとんでもない人勧を実施させないための署名を全国の職場で取り組むことを決定しました。



発行所  
東京都千代田区霞ヶ関  
財務ビル内(〒100-0013)  
全国税労働組合  
発行人 松岡 弘文  
電話 (03) 3581-3678  
FAX (03) 3507-0886  
振替口座 00140-2-68514

“非常識追放”  
110番

zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場からセクハラやイジメなどの非常識をなくすため、「非常識追放」を常時設置して「110番」を常時設置して記の番号までどうぞ。

全国税ホームページ  
http://www.kokko-net.org/zenkokuzei

## 国税労働運動60年 増勢にと全国で決意

05人勧の問題を  
さぐる 2

前号に引き続き、05賃下げ人勧の問題点をお知らせします。

【Q1】 05年度の改訂はいつから実施されるのか。4月に遡って賃下げするというが、その計算方法は?

【A1】 実施の時期は、勧告に基づく給与法等が成立・公布された日の属する月の翌月からです。例えば、05年10月26日に公布されたと仮定すれば、05年11月1日からの実施となります。

ただし、勧告では05年4月に遡って逆格差分を是正するため、「左表」の方法で賃下げ分を計算し、減算額を05年12月の期末手当から差引いて精算します。減額計算では格差率0・36%を使うというのがミソです。

項目	計算式
① 月別給	05年4月の給与額(逆格差分) - 調整 - 控除 - 戻金 - 自身の合計額 × 0.36%
② 6月算	05年6月の賃下額(逆格差分) × 0.36%
③ 減算額	① - ②



大会2日目、小田川調査部長の人勧学習会を熱心に聞く参加者

【Q2】 政府がもう一段の引下げを表明しているが。

【A2】 その通りです。谷垣財務大臣(給与担当相)が人事院勧告を受け、すぐに表明しました。民主党も「国家公務員の賃金を3年間で20%引下げ」ことをマニフェストに盛り込むとしていますが、本俸は全号俸均等に引き下げですから、その率をいじるだけで簡単に追加の引き下げが可能となります。また、勤勉手当0・05月増加(財源230億円)の部分も凍結(実施しない)という動きもあります。

賃下げ人勧ゆるさない!!

### 全国で署名を展開中

人事院は、05年については全員一律4月に遡及して「賃下げ」、06年度以降は地方と中高年層の大幅賃下げ、および「成績主義」強化という最悪の勧告を行いました。「成績主義」強化は、私たち税務職員を「税取り競争」に駆り立て、職場と行政を荒廃させるものです。

争いに駆り立て、職場と行政を荒廃させるものであり、反対です。これ以上の生活悪化を許さず、職場に「誇り」を持って働くためにも、勧告の実施に反対する署名への協力をお願いします。

**賃下げと給与制度改善の人事院勧告 反対 署名**

やめてください! 賃下げ、4月遡及

納得できません! 給与制度の改善

内閣総理大臣 殿

【要求趣旨】  
人事院は、2005年については全員一律で4月に遡及しての賃下げ、2006年度以降は地方と中高年層の大幅賃下げ、および「成績主義」強化の勧告を行いました。「成績主義」の強化は、私たち税務職員を「税取り競争」に駆り立て、職場と行政を荒廃させるものです。  
私たち税務職員・税務界に働く職員は、このような勧告の実施には反対します。私たちは度重なる賃下げと定員削減の中でも、一生懸命に働いてきました。私たちがこれ以上生活を脅かされることなく職場に「誇り」を持って働くために、今夏の人事院勧告について次のことを強く求めます。

【要求事項】

- 1 賃金の引き下げ・4月遡及を行わないこと
- 2 給与制度「見直し」改善を実施しないこと

署名欄

ここに

税務署

2005年 / 秋  
取扱団体 全国税労働組合

### 第21回全国税・全税 支部協議会定期大会

8月20日、全国税・全税支部協議会「第22回定期大会」が行われました。両組合が国税労働者の一致する要求・課題に基づき、組合差別などのあらゆる差別是正、平和・憲法・民主主義を守るため、年間2回の国税庁長官との協議会としての団体交渉をはじめ、各種集会での交流と共同をさらに発展させて共につたかっ運動方針を満場一致で可決しました。



沖縄全税支部の垣花委員長は指笛で「国税のつた」を披露

# いまこそ、確かな組合 全国税の出番です

## 大会発言

### 【京都】藤本代議員

昨年度、右京署の定昇未発令問題を取り上げてきたが、今年度は全国的に低率支給や定昇未発令がひろがっている。当局には理屈も準備されており、確信的だ。人勤の査定給強化を先取りしたもので今後のたたかいが重要だ。

京都・藤本代議員



### 【神奈川県】高橋オノ

東京局では麻布・王子・鎌倉で内部一元化の試行が行われている。幹部職員からは「失敗は許されない。何が何でも成功を」との意欲が伝わってくるが、問題点が多い。机を動かしただけでは各事務系統の仕事は補完できず、専門分野以外の

対応に苦慮している。従来、他の事務系統の税法については自己研鑽でやれと職員に任されていたが、局から税目毎に研修をするよう指示があった。しかし、実情は署へ丸投げ。労働組合として内部事務一元化への対応方針を明確にすべき。

【北海道中】坂東代議員  
札幌局の徴収現場では「つぶれてもいらいから売掛金を差し押さえる」と、課税二部の手法が署に持ち込まれている。「滞納者ワースト50」が署のLANに掲載されたり、滞納者に困難な約束をさせ「破れば差し押さえ」という手荒な手法もとられている。地連は徴収事務のあり方について機関紙で大きく取り上げて職場へ問いかけた。これが大

きな反響を呼び当局を揺さぶり、実情に沿った事務運営を行うよう通達を出させることができた。

### 【福岡】江島代議員

九州でも数件の降格発令があった。当局は表面には「本人の希望で」と言うが、単身赴任を拒否したことへの報復と思われるケースや署長室へ出入禁止された職員への発令など、恣意的なものだと考える。降格予備軍も相当いると言われており、注視していかなければならない。

福岡・江島代議員



### 【長野県】黒河内代議員

地方切り捨ての「賃下げ人勤」実施阻止の運動について、職場への分かり易い宣伝と積極的な取り組みを早急に行うべき。本俸の切り下げは許せないが「地域手当」によつて全国の団結と連帯も分断されかねない。最初は「地域手当」の支給がない地域が中心となつてがんばらねばならないと決意している。

### 【福井】山口代議員

金沢局長へ7名の組合員が昇格問題に関する心



1年間の中間の奮闘ぶりに思わず笑顔

## 降格人事・定昇未発令... じじいなるの？！の職場



## 岡田委員長「あいさつ」

夏季休暇中で職場の手薄な時期を狙ったかのように、人事院はマイナスのダブル勤告を行いました。級の統合新設では、税務署の上席専門官は新4級、5級と、ついに真ん中より下になってしまいました。格下げが確実に進んでいるに気づかれます。国税庁はこの7月人事で、把握しているだけでも20件もの降格人事ポータス勤勉手当の低率支給、定期昇給未発令を平然と行ってきました。そして組合差別は依然として解消しない。これが庁の言う「適正公平」な人事の正体です。行政組織と運営の試行という、労働条件の面で壮大な「人体実験」が行われています。2010年に予定される大掛かりな機構改革にきちんと対処するため、全国税は質問状と要求案を準備しています。組織面では、北海道地連が今純増しています。国税労働運動60年の記念の年を全ての地連が純増で迎え前進する決意を固めましょう。

### 【東京中】藤平オノ



情と人事要求を綴った手紙を出した。局長は真摯に読ませてもらったと交渉で発言した。局幹部は「一定の批判勢力は必要だ」と言っている。機関紙を中心に地道な運動を進めてきたが、組合員同士でネットやメールを駆使して情報交換をしている。富山では月に約6千円も玄関前カンパが集まった。あとは新しい組合員をふやすことが課題だ。

### 【東京中】藤平オノ

女性交流集會を19名の参加で開催した。内部一元化の影響をはじめ、仕事の問題やメンタルヘルスの話題が多く出た。内

### 【埼玉】眞貝オノ

昨年、新潟県は水害や大地震などの大きな災害に見舞われた。水害時には防毒マスクをしなから、地震の後はヘルメットをしなから仕事をしてきたが、こうした実態を機関紙で報道して当局の対応について問題提起してきた。

### 【香川県】乃口代議員

四国地連はこの4年間で、4名の新しい組合員を迎えてきた。風通しの良い明るい職場をつくるために、ますます全国税が必要とされてきていると実感している。これからも多くの職員に加入を訴えていきたい。

## 新役員紹介

- 【中央執行委員長】 岡田 俊明(東京南)
- 【副中央執行委員長】 小田川 豊作(東京南)
- 【書記次長】 山本 浩一(東京中)
- 【中央執行委員】 長沼 敦志(北海道中)、鈴木 仁(宮城)、大野 互(埼玉)、関上 務(埼玉)、水村 芳則(埼玉)、岡沢 利昭(千葉)、豊田 啓子(三重)、一森 進治(東京南)、青木 慎哉(千葉)、蔵原 保一(東京東)、木村 和由(東京東)、田山 文武(東京南)、細川 潔(愛知)、倉屋 賢一(愛知)、澤田 孝司(富山)
- 【書記長】 阿部 富次(埼玉)
- 【顧問】 村上 晴男(元委員長)、吉本 貢(元委員長)、坂本 良雄(元副委員長)、田村 守保(元特別中執)、金子 哲人(元委員長)、西田 一雄(元委員長)、永沢 晃(元委員長)
- 【統制委員会】 熊谷 邦雄(千葉)
- 【書記次長】 村上 晴男(元委員長)、吉本 貢(元委員長)、坂本 良雄(元副委員長)、田村 守保(元特別中執)、金子 哲人(元委員長)、西田 一雄(元委員長)、永沢 晃(元委員長)
- 【書記長】 熊谷 邦雄(千葉)
- 【顧問】 村上 晴男(元委員長)、吉本 貢(元委員長)、坂本 良雄(元副委員長)、田村 守保(元特別中執)、金子 哲人(元委員長)、西田 一雄(元委員長)、永沢 晃(元委員長)
- 【書記次長】 村上 晴男(元委員長)、吉本 貢(元委員長)、坂本 良雄(元副委員長)、田村 守保(元特別中執)、金子 哲人(元委員長)、西田 一雄(元委員長)、永沢 晃(元委員長)
- 【顧問】 村上 晴男(元委員長)、吉本 貢(元委員長)、坂本 良雄(元副委員長)、田村 守保(元特別中執)、金子 哲人(元委員長)、西田 一雄(元委員長)、永沢 晃(元委員長)

## 退任役員

今大会をもって、左記の方々が本部役員を退任されました。

- 【書記長】 松岡 弘文(東京西)
- 【中央執行委員】 酒井 茂樹(北海道中)、柳沢 由明(埼玉)、中島 計衛(埼玉)、菅原 邦夫(東京中)、金田 明幸(東京東)、長谷川 健(南大阪)、川村 唯志(徳島)

## 本部専従



新たに阿部書記長が本部で専従役員としての任務に就きます。

明るい職場目指してがんばります！

ありがとう  
ございました

## 来賓

## メッセージ

国公労連・岸田重信書記長、全税関・河野正典委員長、沖繩国公労全税支部・垣花讓二委員長、支那・金子哲人顧問、全国税OB会・難波武久会長

安破棄中央実行委員、会/医労連/銀行労連/銀産労/建交労/原水協/健保労組/航空労組連/公務労組連/国労/国会職組/国共病組/国金発展会/国公共済会/差別連/自治労連/自由

法曹団/消費税廃止各界連/昭和シルシ労組/新婦人の会/新聞労連/政金労/全医労/全印総連/全運輸/全気象/全教/全経済/全厚生/全港建/全国革新懇/全司法/全商連/全証協/全信労/全損保/全日赤/全農協労連/全労働/全労連/総理府労働/田村守保/中国国税/TCWU/東京靴工

組合/東京税財政研究会/ンター/東京土建/都市機構労働組合/西田一雄/日高教/日中友好協会/日本共産党/日本平和委員会/年金者組合/農民連/非核の政府を求める会/不公平な税制をたす会/変額保険被害者の会/保団連/民放労連/ろつきょう/ろつきん電ケ関支店

敬称略・五十音順